



## 平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 金下建設株式会社

コード番号 1897 URL <http://www.kaneshita.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 金下 昌司

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 山崎 哲典

TEL 0772-46-3151

四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	14,264	63.8	347	—	456	—	441	—
24年12月期第3四半期	8,706	△19.4	△398	—	△275	—	△171	—

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 894百万円 (—%) 24年12月期第3四半期 △137百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	28.26	—
24年12月期第3四半期	△10.88	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第3四半期	23,411	19,251	81.0
24年12月期	22,831	18,624	80.4

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 18,959百万円 24年12月期 18,355百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	—	—	17.00	17.00
25年12月期	—	—	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,600	39.7	150	—	290	—	270	—	17.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年12月期3Q	19,033,300 株	24年12月期	19,033,300 株
25年12月期3Q	3,428,150 株	24年12月期	3,424,840 株
25年12月期3Q	15,607,010 株	24年12月期3Q	15,725,861 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)	連結経営成績に関する定性的情報	2
(2)	連結財政状態に関する定性的情報	2
(3)	連結業績予想に関する定性的情報	2
2.	サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1)	当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2)	四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3)	会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3.	四半期連結財務諸表	4
(1)	四半期連結貸借対照表	4
(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3)	継続企業の前提に関する注記	8
(4)	株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5)	セグメント情報等	8
4.	補足情報	9
	四半期個別受注の状況	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和をはじめとする経済政策を背景にした円高の是正と株式市場の持ち直し等から、企業収益や個人消費が改善する等、景気回復の動きも見られましたが、海外経済の下振れリスク等の懸念材料もあり、依然として景気の先行きに不透明感を残すところとなりました。

建設業界におきましては、復興需要や補正予算の執行等により、公共投資は堅調に推移し、民間投資も回復基調で推移しましたが、その一方で人手不足の深刻化や熾烈な受注競争が継続する等、依然として厳しい状況となりました。

このような状況のもとで、当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、142億6千4百万円（前年同四半期比63.8%増）となりました。利益面につきましては、売上総利益が増加したこと等により、営業利益は3億4千7百万円（前年同四半期営業損失3億9千8百万円）、経常利益は4億5千6百万円（前年同四半期経常損失2億7千5百万円）、四半期純利益は4億4千1百万円（前年同四半期四半期純損失1億7千1百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。（セグメントの業績については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて記載しております。）

## (建設事業)

受注工事高は105億1千7百万円（前年同四半期比2.8%減）、完成工事高は140億6千9百万円（前年同四半期比65.3%増）、セグメント利益は6億1千6百万円（前年同四半期セグメント損失9千5百万円）となりました。

## (製造・販売事業等)

主にアスファルト製品の製造・販売で、売上高は6億5千1百万円（前年同四半期比26.5%増）、セグメント利益は6千万円（前年同四半期比311.8%増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## (資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における総資産につきましては、現金預金が6億1千7百万円増加したこと等により、前連結会計年度末より5億8千万円増加し234億1千1百万円となりました。

負債につきましては、繰延税金負債が1億9千万円増加しましたが、未成工事受入金が3億1百万円減少したこと等により、前連結会計年度末より4千8百万円減少し41億5千9百万円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金が1億7千6百万円、その他有価証券評価差額金が4億3千万円増加したこと等により、前連結会計年度末より6億2千7百万円増加し192億5千1百万円となりました。

この結果、自己資本比率は81.0%（前連結会計年度末は80.4%）となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年12月期の業績予想につきましては、平成25年7月30日発表の数値を変更しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	8,725	9,341
受取手形・完成工事未収入金等	4,456	4,089
有価証券	649	1,150
未成工事支出金等	639	426
繰延税金資産	25	26
その他	178	252
貸倒引当金	△38	△38
流動資産合計	14,634	15,246
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,582	1,582
その他(純額)	569	535
有形固定資産合計	2,152	2,117
無形固定資産		
	89	68
投資その他の資産		
投資有価証券	5,755	5,784
その他	525	520
貸倒引当金	△324	△324
投資その他の資産合計	5,956	5,980
固定資産合計	8,197	8,165
資産合計	22,831	23,411

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	2,689	2,680
未払法人税等	11	25
未成工事受入金	473	172
完成工事補償引当金	15	32
賞与引当金	—	21
工事損失引当金	14	19
その他	416	437
流動負債合計	3,618	3,386
固定負債		
繰延税金負債	108	299
役員退職慰労引当金	465	459
負ののれん	0	—
その他	16	16
固定負債合計	589	774
負債合計	4,207	4,159
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	2,121	2,121
利益剰余金	15,874	16,050
自己株式	△1,161	△1,163
株主資本合計	17,833	18,008
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	522	952
その他の包括利益累計額合計	522	952
少数株主持分	269	292
純資産合計	18,624	19,251
負債純資産合計	22,831	23,411

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	8,706	14,264
売上原価	8,422	13,270
売上総利益	284	994
販売費及び一般管理費	682	646
営業利益又は営業損失(△)	△398	347
営業外収益		
受取利息	53	46
受取配当金	26	27
為替差益	7	14
その他	54	49
営業外収益合計	140	136
営業外費用		
支払利息	0	0
貸倒引当金繰入額	1	—
有価証券償還損	—	6
投資事業組合運用損	2	—
不動産賃貸原価	11	12
その他	2	9
営業外費用合計	17	27
経常利益又は経常損失(△)	△275	456
特別利益		
投資有価証券売却益	2	34
負ののれん発生益	32	—
その他	1	0
特別利益合計	35	34
特別損失		
投資有価証券評価損	24	—
その他	1	0
特別損失合計	25	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△265	490
法人税等	△95	26
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△169	464
少数株主利益	2	23
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△171	441



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△169	464
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32	430
その他の包括利益合計	32	430
四半期包括利益	△137	894
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△139	871
少数株主に係る四半期包括利益	2	23

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第3四半期連結累計期間（自平成24年1月1日至平成24年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	建設事業	製造・販売 事業等	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,511	195	8,706	—	8,706
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	320	320	△320	—
計	8,511	514	9,026	△320	8,706
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	△95	15	△81	△317	△398

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△317百万円には、セグメント間取引消去19百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△336百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間（自平成25年1月1日至平成25年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	建設事業	製造・販売 事業等	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,069	195	14,264	—	14,264
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	456	456	△456	—
計	14,069	651	14,720	△456	14,264
セグメント利益	616	60	676	△329	347

(注) 1. セグメント利益の調整額△329百万円には、セグメント間取引消去△15百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△315百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

四半期個別受注の状況

個別受注実績

(百万円未満四捨五入)

	受 注 高	
平成 25 年 12 月期第 3 四半期	10,092 百万円	△3.2 %
平成 24 年 12 月期第 3 四半期	10,424 百万円	41.6 %

(注) ①受注高は、当該四半期までの累計額

②パーセント表示は、対前年同四半期増減率

(参考)受注実績内訳

(単位：百万円)

区分		平成 24 年 12 月期 第 3 四半期	平成 25 年 12 月期 第 3 四半期	比較増減	増減率	
建設 事業	土木	官公庁	2,798 ( 26.9%)	3,913 ( 38.8%)	1,114	39.8%
		民間	213 ( 2.0%)	164 ( 1.6%)	△49	△22.8%
		計	3,012 ( 28.9%)	4,077 ( 40.4%)	1,066	35.4%
	建築	官公庁	13 ( 0.1%)	1,164 ( 11.5%)	1,151	—
		民間	7,399 ( 71.0%)	4,851 ( 48.1%)	△2,548	△34.4%
		計	7,412 ( 71.1%)	6,015 ( 59.6%)	△1,398	△18.9%
	合計	官公庁	2,812 ( 27.0%)	5,077 ( 50.3%)	2,265	80.6%
		民間	7,612 ( 73.0%)	5,015 ( 49.7%)	△2,597	△34.1%
		計	10,424 (100.0%)	10,092 (100.0%)	△332	△3.2%

(注) ( ) 内のパーセント表示は、構成比率